

## 摩周湖

摩周湖は、阿寒摩周国立公園の東に位置するカルデラ湖です。アイヌ語では、摩周湖は神の湖を意味する「カムイ・トー」と呼ばれています。摩周湖は、水位が一定しており、これは、湖を出入りする河川がないためです。摩周湖の独特な色は「摩周ブルー」と呼ばれています。植物プランクトンの生息密度が小さいこと等により、摩周湖は清浄な湖水を維持しており、2000年代からの平均値として、透明度は20メートル前後を推移しています。

## 第一展望台

摩周湖第一展望台は、摩周カルデラの南西端にあります。この展望台から見ると、カルデラの大きさがよく分かります。約7,000年前に火山の噴火でできた摩周湖は、周囲を高さ200～300メートルの絶壁に囲まれています。

この展望台には、近くにある2つの山への登山口があります。摩周岳（カムイ・ヌプリ）は、湖の向こうに見える山で、山頂直下に爆裂火口があります。857メートルの摩周岳の山頂まで所要時間は約3時間です。途中よりコースが分かれる、799メートルの西別岳の山頂までの所要時間は約2時間45分です。

晴れていれば、いずれの山頂からも遠く阿寒と知床の山々や摩周カルデラを含む景色を360°見渡すことができます。

## 第三展望台

摩周湖の第三展望台は摩周カルデラの西端にあります。西に面した展望台と東に面した展望台で構成されています。西の展望台からは、硫黄山が見えます。硫黄山の向こうには、屈斜路湖が垣間見えます。東の展望台からは、摩周湖の中心にある小島、カムイシユ島を近くで見ることができます。ここは、6月から10月の早朝にカルデラ湖の上に漂う、「雲海」として知られる自然現象を見るには、最高の場所でもあります。

第一展望台から第三展望台までの距離は、3.4キロです。道路を利用し、車や徒歩で行き交うことが出来ますが、通行には注意してください。なお11月上旬より4月下旬までは降雪、積雪のため道路は閉鎖され通行出来ません。

第一展望台にはトイレや売店のある休憩所があります。

第三展望台にはトイレや売店のある休憩所はありません。